



議会だより

平成20年
5月1日
No.13



黒川多目的広場

第1回定例会 (H20年2/27~3/19)

定例会概要

2~3 ページ

一般質問

13議員

市政を問う

(内容は本人の草稿によるものです。)

4~10 ページ

3常任委員会審査

10~12 ページ

H20年度予算の審査

14~17 ページ

小学生が見た議会

きのと小学校

18~19 ページ

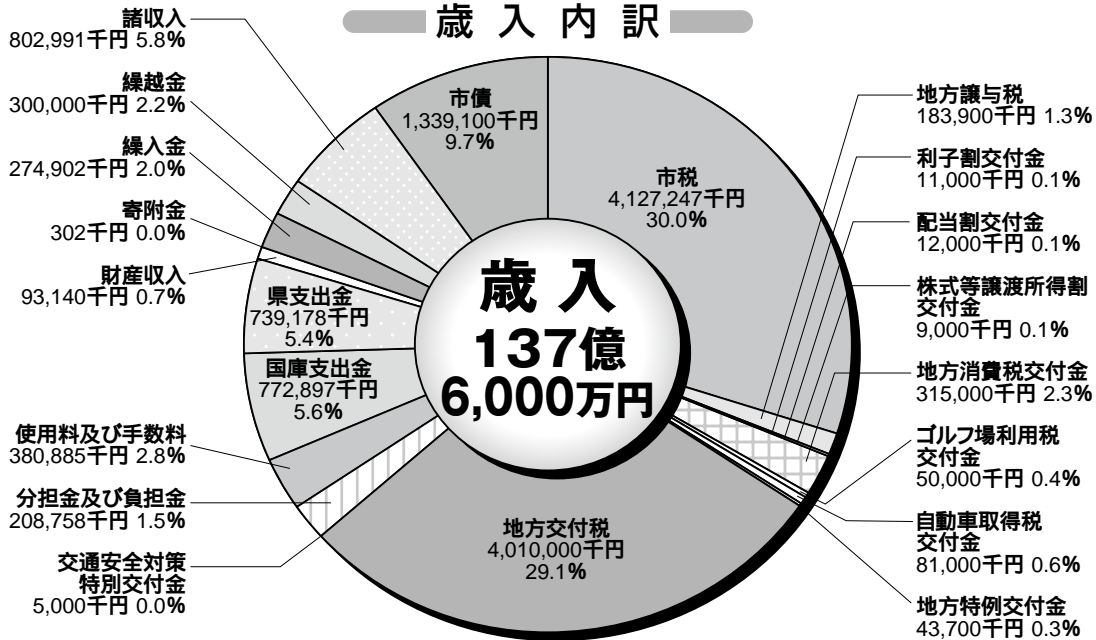


4月5日に竣工となった「スピードパーク新潟」(工業団地笹口浜地区)

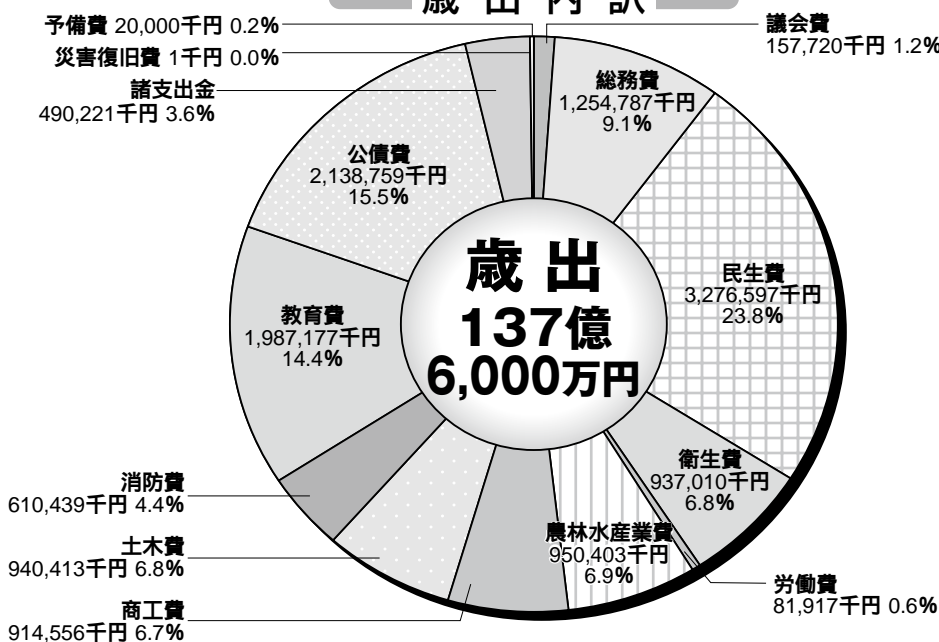
**第1回
定例会開催**

2月27日～3月19日

歳入内訳



歳出内訳



20年度

予算可決

一般会計予算

137億6,000万円

第1回定例会

20年度予算

概要

第1回定例会が平成20年2月27日から3月19日まで、22日間の会期で開かれた。本定例会初日27日には、企業誘致促進特別委員会の閉会中審査報告、市長の施政方針演説が行われた。更に、20年度一般会計・特別会計・公営企業会計の予算審査特別委員会が設置された。また、37件の議案が提案され、各常任委員会に付託された。

3月10日、11日には市政に対する一般質問が行われ、13人の議員が質問に立った。
12日、13日には、予算審査特別委員会が開催され、一般会計・特別会計・企業会計の活発な審査が行われ

た。

19日の最終日には、17件の予算議案、各常任委員会の審査を経た37件の議案、更に追加案件として5件の報告、5件の議員発議が提出され、趣旨説明、質疑の後、原案のとおり可決された。

一般会計予算

前ページのとおり

- ・国民健康保険事業 33億9,800万円
- ・老人保健事業 3億7,300万円
- ・後期高齢者医療 2億7,500万円

特別会計

・国民健康保険事業

- ・公共下水道事業 29億7,260万円
- ・水道事業 13億4,259万円
- ・工業用水道事業 247万円

公営企業会計

・公共下水道事業

- ・簡易水道事業 1億3,500万円
- ・鹿ノ俣発電所運営事業 3,780万円
- ・地域産業振興事業 9億700万円
- ・宅地造成事業 3,800万円
- ・観光事業 8億円

主な事業

・介護保険事業 20億4,200万円
 ・農業集落排水事業（黒川乙地区） 4億1,950万円
 ・特定環境保全公共下水道事業（荒井浜） 7,940万円
 ・公共用地先行取得事業 7,590万円
 ・黒川診療所運営事業 1億3,500万円
 ・観光事業 8億円
 ・宅地造成事業 3,800万円
 ・地域産業振興事業 9億700万円
 ・簡易水道事業 1億3,500万円
 ・鹿ノ俣発電所運営事業 3,780万円

・統合小学校建設事業（19年～22年）20年度は校舎建設工事、体育館・食堂の実設計。
 5億7,017万円
 防災行政無線設置事業（18年～20年）20年度は最終年。胎内市全域における無線施設の整備、市役所基地局、屋外子局、全世界に受信機設置。
 1億5,000万円
 胎内リゾート活性化調査検討委託事業、財団法人日本交通公社に委託し、「胎内市観光振興ビジョン」、「胎内リゾート活性化マスタープラン」、「胎内リゾート活性化アクションプラン」を策定して抜本的な改革を実施。
 1,578万円
 一般旅券（パスポート）発給事業、県からの移譲により、4月1日から旅券申請・交付事務を開始する。
 49万円
 特定不妊治療費助成事業 県が行う助成事業の対象外

（夫婦収入730万円以上）で不妊に悩む夫婦を対象に治療の一部を助成する。（助成額1年度につき10万円を限度に通算5年間）
 50万円
 母子健康診査委託事業
 少子化対策の一環として、妊婦健康診査にかかる費用助成を2回から5回に増やす。
 1,001万円
 特定健康診査・保健指導事業
 本年度より40歳～74歳のメタボリック対象者に対し保健指導を実施。
 4,064万円
 水防事業
 市民の防災意識向上等を目的に、ハザードマップを作成し全世界に配布する。
 650万円
 子ども医療費助成事業
 子育て支援の一環として、乳幼児の医療費を一部助成する。通院（小学校就学前3月末まで）、入院（小学校卒業まで）
 4,873万円
 合併振興基金運用益活用

事業補助金
 運用益を利用して、コミュニティセンター事業へ補助を行う。ただし、事業費の2/3補助。（1件当りの限度額30万円）
 680万円
 交通安全施設整備事業
 道路区画線等設置工事 10,000m、路面標示設置工事 10ヶ所、道路反射鏡（カーブミラー）設置工事 20ヶ所。
 435万円
 生きがい活動支援通所事業
 在宅の要介護高齢者等にデイサービス施設で各種の介護予防を行う。
 1,501万円
 健康母子手当事業
 第3子からの出産に対して、子育て支援としてお祝金を支給する（第3子10万円、第4子以降一人につき15万円）。
 435万円



勤務医奨学条例制定 何故進まぬ



小野 康男 議員

市長 十分研究して、やっていきたい

質問 市民は満足に市内病院にかかれぬ不安深刻だ。根は、医師国家試験前2年無給研修に学ぶ支援体制に重大な格差あり。同じ地方でも東京人口50人に医1人、県は1万人当り9人、支援

の度は歴然。司法修習生は2年間国費支給。県では30人枠、一人月額5万円×2年の確保策新設の令、市民の念願、耳鼻咽喉科、内科の各一人。市長の所見と早急な取組み決断を問う。

市長 関係機関に働きかけて来たが、有効な施策も重要と思ひ、機関と連携し十分研究していきたい。

財政の明確化 と公表は

質問 平成18年4月から財政健全化新法、JA黒川の損失補償の実態含め、「将来負担比率」も問われる。市は、県下2位から4位に改善され鋭意努力の実状公表は。

市長 損失補償は、発生しない限り記載しない。新潟フルーツのブドウ93万円の計110万円、市の経常収支比率91・3%。実質公債費比率は21・9%で健全化に努めていく。

小学校名と 校章・校歌

質問 市名のエリアに不当の校名冠するは、市名保全にトゲを刺す行為、市長は校章・校歌制定の折、抜き改める考えは、名の行政不徳だ。

市長 指導に欠ける指摘だが、自治法上誤りはない。校章・校歌は適時制定する。

鳥獣の農産物 被害について

質問 市内中山間地被害の苦渋に市・JA・猟友会取組の実態、猿の好まぬ特産化は。

市長 会員は73名、18年猿155匹、熊12頭、費用65万円。無被害のコンニャク、里芋、ミヨウガ等を支援したい。

メタボ健康受診券

質問 4月健康保険が高齢者75歳、区分受診券は。

市長 国保対象券は4月上旬、高齢者は県広域連合の委託で、6月〜秋に機関と協議し対応したい。

(一人新保険証、負担は年金天引方式)

黒川地区3小学校の 適正規模は



増子 強 議員

教育長 学級人数は、20人程度を最小限としたい

質問 適正な学校規模や学級人数は。

県内小学校における適正規模を1学年2学級以上、全校で12学級から18学級を標準とし、学級人数は20人程度を最小限としている。

質問 黒川地区3小学校の統合については。

市長 保護者、地域の皆さんに対し、必要な情報提供を積極的に行うとともに、今後の児童数の動向や地域の状況など、将来的な展望に立ち、しっかりと考えていく。

観光施設経営 診断について

質問 ホテル経営理念の再構築及び経営責任者常駐の考えは。

市長 財団法人日本交通公社からホテルの経営について指導を得ながら経営方針、経営組織、事業計画等も含めて確立したい。また、支配人の権限を拡大することにより即決断、実行できる体制を確立したい。

質問 営業活動を強化するには。

市長 これまで専門の営業

担当者が不在であったが、今後は営業部門の強化を図っていきたい。

新潟製粉、 今後の見通しは

質問 当初の計画に対し、現在の生産実績は。

市長 計画では年間1、320トンの生産予定だが、平成19年度は4300トンを見込んでおり、計画の3倍強の生産となっている。

質問 プラントの更新を含めた設備投資の考えは。

市長 今後、市が行なう増設計画については需要の動向や販路及び調達資金の見込み並びに提携企業等、総合的観点から検討する。

胎内高原ハウス について

質問 適切な運営がなされているか。

市長 平成20年度は100万本の販売が予定されており、指定管理者制度の導入により民間ノウハウが生かされた成果であると考えている。

質問 リゾートと市内商

リゾートと市内業者の 共存共栄の考えは

市長 アンケート調査を実施している



松浦 富士夫 議員

問 店、飲食店、宿泊施設等の業者と共存共栄の考えは。

市長 市内77飲食店等を対象に近年の売り上げ状況や増減理由及び市の施設との共存共栄の方策等についてアンケート調査を実施している。調査結果をもとに今後の商工業の振興策をどう進めていくか考えていく。

問 血税を使って作成したリゾートのパンフレットを一部区長さんに配布をお願いしているが、このような配布方法をどう考えているか。

市長 初めて聞いたので調べたい。

問 観光マップをどういう形で製作する予定か。

商工観光課長 市内の飲食店、宿泊施設、商店などがあるし、NPO法人のメンバーも独自で提案を模索していると聞いている。一緒にできるものを検討し共同で作成できればと考えている。

問 ハム・ソーセージなどの畜産物加工品は、新潟市などで評判がよいと聞いているが、市内販売店への販路拡大の考えは。

市民に係る医療 について

市長 昨年中条町商工会を通じて市内業者へ販売をお願いしたところ、残念ながら協力していただける業者はなかったが、市内のスーパードラッグからギフト商品として受注があり、又市内飲食店で食材として利用いただいているし、市役所内でも販売している。大勢の市民の方にご興味いただけるよう販路拡大を図っていく。

問 今市民の中に県立病院の対応に不信感、不安感を持っている方がいるが、今後ますます高齢化になっていき、安心・安全の観点からしても医療は大事な問題と思うが不安のない医療をどう要望していくのか。

市長 対応は非常に重要であり、市だけではなく新発田広域関係者、村上広域関係者とともに対応について強く要望し、動向についても注意していく。

市内中小企業にとって さらなる圧迫が心配

市長 側面的支援を行う



高橋 政実 議員

問 市内中小企業の現状をどう見ているか。単独事業予算の激減もあり活性化策は。

市長 景気回復の遅れや原油高の影響などで経営環境は厳しくなっている。市では中小企業育成資金預託金の増額や県の貸付金、セーフティーネット資金の信用保証料の補給など、公共事業についても予算枠内で工事発注を行う。小規模工事及び修繕に契約希望者登録制度などの活用がある。

問 20年度予算で一般財源からの肩入れ事業は。

市長 観光事業特別会計へ6千万円、地域産業振興事業特別会計へ9千8百万円を繰り出し、またロイヤル・ケアハウス・ヒュッテなど胎内リゾート施設のほか、友好会館・産業文化会館などに施設公債費を含めて約4億円の一般財源を充当した。

問 第三セクターの資産外部評価、新基準財政判定、改革プラン策定を国は求めているが。

市長 債務損失補償

額の評価基準案を総務省がまとめた。総務省の方式に基づき検討する。

環境関連

問 臭気濃度測定のスケジュールは。

市長 築地地区は19年度から、乙地区は20年度早々から各2回測定する。

問 バイオマス、民活による実用化の見通しは。

林水産課長 20年度中に方向を定め、21年度から事業化に入りたい。

問 食用廃油の回収計画はあるか。

市長 広域組合でも再利用の研究に入る。市も先進地を参考に検討する。

補助金関連

問 目的達成に沿った事業ウェートの高い団体、住民福祉サービスマスに直結した活動体などには安易に減額すべきではないか。

市長 策定済みのガイドラインの基準に従って見直しを進める。

胎内市発展、今こそチャンス



水澤 貞一 議員

市長 大観光交流年、絶好の機会

質問 国体、NHK大河ドラマ「天地人」の放送などが重なり、注目を集める事になる。胎内市の観光PRの最大のチャンスと思うが市の取り組みについて、また胎内リゾート周辺の環境整備を進めるべきでは。

市長 「大観光交流年」事業は市においても絶好の機会である。県内外からのお客様に対し、地元産の新鮮な食材を提供したり、各種イベントを計画し観光胎内をアピールしていく。

トキめき国体の対応

質問 市民が心から歓迎し、訪れた皆様の心に残る大会になってほしい。各種団体、小中学校、町内、集落に対しての協力要請は。国道7号の中央分離帯の整備は。

市長 市民総参加のもと、心を込めて歓迎したい。各種団体、小中学校、各自治会にも美化運動等をお願いしたい。中央分離帯については、景観に配慮し整備を

観光事業推進について

国交省に強く要望する。

質問 観光リゾート関係の質問が今までに20数回されて来た。市長は事業目的を明確にはっきり答弁し、議会に協力を求めるべきと思うが、執行部、議会が一体となって進めた企業誘致が何よりの事例である。

市長 市民の皆様には不安のないよう対応していく。全国に誇れる財産であり、各委員会、議員の英知を結集し健全な運営を進めていく。

減反政策の対応

質問 国民の食糧は我々が守ると誇りを持って今まで頑張ってきた。まじめにやっている農家が馬鹿を見る事のないよう、市は強く指導すべきと思うが。

市長 農政事務所、農協、市が連携を強め対応していく。

胎内リゾート活性化は市民参加型で



丸山 孝博 議員

市長 各種団体の代表で構成している

活性化検討委員会での議論に終わらせないで、多くの市民に市長が直接説明するとともに意見を聞く場を設けるべきではないか。

胎内リゾートの活性化をめざす、市民参加型のよい例として取組む絶好のチャンスであると思うがどうか。

市長 検討委員会を公募委員3名のほか各種団体の代表で構成している。委員会も公開している。資料等は広報やホームページに随時掲載している。

後期高齢者医療人間ドック等も対象に

質問 75歳以上の後期高齢者に対する健診、人間ドックは、4月以降対象外になるが、従来どおり実施すべきでないか。

市長 健診は広域連合から委託を受け実施する。人間ドックは考えていない。

貧困と格差是正の取組みは

質問 ほとんどの施設が利用者の減少などで赤字であり、市の財政を圧迫している。

質問 構造改革によって貧困と格差が広がっているが、胎内市にとって市政運営及び市民生活に及ぼしてきた影響は。また、格差是正に向けた政策展開は。

市長 格差を生み出した社会をつくり直す仕組みが必要である。国の対策を注視しながら市としても考えていきたい。

鳥坂団地8号棟の建替えは

質問 鳥坂団地8号棟の建て替えは、20年度・21年度におこなうと答弁している。予定通り建設すべきでは。

市長 当初予定していたが、市全体の建設計画の見直しを図り着手したい。

三・八市の活性化について

質問 歴史ある中条市だが、出店者の高齢化などで衰退している。具体的支援体制についての考えは。

市長 露天市場運営委員会の意見をいただきながら活性化方策を考えていきたい。

AED 設置計画と 救命講習会開催は

市長 順次整備し、随時開催したい



新治ひで子 議員

質問 今後のAEDの設置計画と使える人を増やす救命講習会開催は。人目につく場所に設置し、全ての設置場所を広報すべきでは。

市長 20年度は、新たに7施設に設置予定。救命講習会も広く市民向けに開催したい。設置場所は市報等への掲載で周知を図る。

質問 学校への設置は。子どもの頃から危機意識を持ち、緊急時の対処能力を高めるため、救命講習会を児童・生徒やPTAを対象に実施できないか。屋外でのスポーツ大会にAEDの貸出し制度が必要では。

教育長 計画的に設置の普及と講習会の推進を図り、貸出しについても検討したい。

質問 EMは全国各地で水稲・畑作・果樹・生ごみリサイクル・畜産・環境浄化と多方面で活用され、その成功事例とともにEM技術も確立された。市の畜産団地で模範的にEM利用による環境保全型の畜産に取り組めないか。実証により、市内畜産業における悪臭問題改善へ繋がられる。利用

質問 EMを利用したブルー掃除は、市内の5小学校へ広がり好評だ。市庁舎内トイレ掃除は、悪臭軽減のため3年前からEMを利用している。安全で悪臭・雑菌抑制力が強く、流せば環境を浄化する「EMトイレ掃除」を市内の小・中学校で取り組む考えは。

教育長 積極的な活用を図りたい。

EMの利用 促進は

学校支援ポラン ティアの普及は

質問 中条小の学校ポランティア活動は、地域の皆さんの協力を得て子どもたちを見守り育てながら、大人も新たな発見や交流が生まれていると聞く。この取り組みを市内の幼・小・中学校へも普及できないか。

教育長 教職員とPTAで望ましい形について検討していただく。

中条中核工業団地の 優位性は

市長 交通体系などの社会基盤が充実



渡辺 俊 議員

質問 中条中核工業団地の優位性は。

市長 当団地の地形や強固な地盤、良質な工業用水、都市ガス、整備された高速交通体系などの社会基盤が充実している。

質問 20年度の目標と活動方針は。

市長 プラス思考で行き、誘致に全力を尽くす。

市長 地域産業活性化協議会の承認のもと、国と協議を進め、基本計画が同意されれば、全国に向けた情報発信が可能となり、さらなる立地促進が期待できる。

質問 イリノイ大学の件、中条高校英語科の閉校、中条工業高校の閉校は誘致活動に無縁ではなく、今後の若い労働力の確保は。

質問 販売計画や完売等の確約はあったのか。完売できない場合はすべて国と県の損失か。

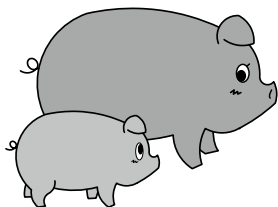
市長 近隣市町村との道路体系を考慮し、誘致企業と十分協議する。

市長 中条中核工業団地の目標は達成可能か。来々3月までに50%以上の分譲は非常に難しい。

市長 国分譲業務終了により、国から県へ、県から市へと業務移管があった場合の市の対応は。

市長 誘致に全力を尽くす。

市長 誘致企業と十分協議する。



***その他の質問**
「観光事業に対する市長の思いについて」
「胎内黒豚と種豚改良センターについて」



佐藤 武志 議員

庁舎、敷地内の全面禁煙を

市長 実態を把握し喫煙場所を考えたい

質問 利用者のほとんどが喫煙者の職員、議会時等の議員の利用しかない庁舎内5階の喫煙所を廃止、または、敷地内全面禁煙を強く要望する。

市長 5階の喫煙所の廃止も考え喫煙場所としてここに設定するのが一番良いのかも含め、対応を考えたい。

質問 市は、受動喫煙防止対策をし、どのような施設で実施し効果が出ているのか。

市長 市の保育施設、各小中学校、社会教育、文化、体育、健康福祉、保健医療施設は敷地内を含め全面禁煙としている。効果については、具体的に示すのは困難だが受動喫煙に起因する健康被害は減少している。

情報公開について

質問 議会中継を庁舎ロビーと産業文化会館の2箇所で行っているが、遠くから傍聴にこられる市民にも、より多くの市民に関心を持ってもらうために、築地・黒川地区にモニターを設置する考えは。

市長 中継施設を増やすには多額な費用を要するため考えていない。ホームページ上に配信しているのを利用してほしい。

市立学校関連について

質問 市立学校の耐震について今後の工事日程、安全性等の対策は現在どのような状況になっているのか。

市長 20年度から学校施設23棟の耐震診断を始め中条小・大長谷小・中条中・築地中学校を実施し、21年度に黒川小・鼓岡小・黒川中学校の耐震審査をする。また、災害を想定した訓練を実施し徹底したい。

質問 各学校で英語の講師としてALTによる授業をしている外国人講師は何人で、どのような資格を持ち、当市と契約をしているのか。

市長 市の委託業者から派遣され3名が勤務している。

質問 私の知る限りでは、6名の講師がいるが、イリノイアカデミーからの派遣教師は3名で、補助教員である。他の3名は補助なのかボランティアなのか承知していない。

学校教育課長 市は3名の契約をしているが、中条中学校の6名は、中学校独自で依頼している留学生である。

***その他の質問**
募金の収集の仕方について



赤塚 タイ 議員

子育て支援 若者が安心して子育てできる環境を

市長 財政関係もあるので十分努力してみたい

質問 地域の活力低下を招く人口減少、福島県失祭町では第3子新生児誕生祝金100万円、第4子150万円、5人目200万円を支給し人口が確実に増加している。取り組む考えはないか。

市長 他事業の総合的な効果や他市町村の動向等を見ながら検討する。

質問 私の質問は唐突な提言だと思われるが、出来ないうことは無いと思う。平成19年度の現計予算では3億6千万円の一般財源が胎内リゾート関連施設に繰り出されている。一刻も早く経営改革を進めて若者が安心して子育てできる環境をつくるべきでは。

市長 財政関係もあるので十分努力してみたい。

質問 今回のギョーザ事件により、食の安全は大きく脅かされた。学校給食や家庭には安心安全、顔の見える安い食材が必要だ。胎内市で砂丘地農業の拠点として建設された長池直売所、学校給食の

納入業者として契約できないか。

市長 食材として納品数量の確保、規格、種類の統一などの条件を満たすことや、現在の納入業者には不良品の返品など、担保させている。趣旨は理解できる。十分検討したい。

質問 食育基本法の下、食育推進計画が策定「学校給食に顔が見える、話ができる、生産者等の地場産物を使用し、食に関する指導の生きた教材として活用する」。このことは、生産者である長池直売所が最適と思うが。

市長 地場産の顔の見える品物を使用することは百も承知である。教育委員会と十分協議したい。



自然災害に強い安全・安心な街づくりをどう進めるのか

市長 防災無線の活用と防災組織の育成と訓練による危機管理意識の高揚に努める



菅原市永 議員

され、初期消火訓練や災害に対して総合的な訓練を実施。

質問 住宅建築耐震化促進計画で対象となる住宅数と1戸当りの負担額は。

市長 対象となる件数は3770戸、個人負担が1万円で、本年6月をめどに制度化したい。

質問 避難所に指定されている学校で、耐震基準に合格しない施設の補修、補強を早期に実施する考えは。

市長 平成20年・21年度で耐震診断を実施し、計画的に整備したい。

地域産業振興 特別会計

質問 販売収入が年々減少し、19年度一般会計からの繰入金1億1500万円。

苦戦続く地ビール園、農産物加工施設、乳製品加工センターの収入積算の根拠については。

市長 見込みとおりの収入確保が出来ない状態になっている。これまでの実績や、20年度の事業展開を見据え

市長 現在32の組織が設立訓練内容は。

た中で積算した。

入札制度について

質問 公正、公明、競争の原理が発揮されているのか。入札別の落札率は。

市長 通常型指名競争入札74件、落札率93・95%、公募型指名競争入札53件、落札率93・08%、制限つき一般競争入札63件、落札率94・41%。

質問 一番高い、一番低い落札率は。

財政課長 落札率の高いのは100%が3本、低いのは61・06%。

質問 落札率100%ドンビシヤの入札、通常では考えられないが。

財政課長 予定価格が100万円単位で、切りのよい額になっていたので100%が出たと考えており、内訳表等で確認した結果、疑義がなかった。

遊休地の売却

質問 旧町営プール跡地の売却は。

市長 本年度売却したい。

合理化事業計画策定の考えは



渡辺宏行 議員

市長 協議会を設立し取り組んでいく

質問 下水道の整備により、し尿・汚泥等の処理量の減少は著しい。業務の安定性と廃棄物適正処理の観点から収集運搬業務を「許可制」から「委託制」に変えるべきでは。また、合理化事業計画策定の考えは。

市長 下水道の普及率や収集実績などを総合的に勘案し、委託制に移行する時期を考えていく。合理化事業計画については、収集業者3社等と策定に関する協定書を締結しており、今後は協議会を設立し取り組む。

障害に見合った独自のサービス提供を

質問 腎臓機能障害が原因で失明し、週3回の人工透析を受けている人がいる。家族の負担を少しでも軽減するため障害に見合った胎内市独自のサービスの提供が必要と思うが。

市長 市の福祉サービスとして、通院助成費の支給や移動支援事業サービス、また障害者自立支援法に基づ

くサービス給付などを活用することにより、家族の介護軽減と生活の安定を図ることが可能と思う。今後も利用者のニーズに応じたサービスの提供に努めていく。

「道の駅」構想と観光物産館について

質問 荒川インター近くの「道の駅」構想の現況と構想実現に伴う「きのと観光物産館」への影響は。物産館の将来計画と今後の対応は。

市長 「道の駅」は市町村が運営に当たるため現時点では、整備に要する費用や運営面で課題があり進展していない。観光物産館については、「道の駅」構想の動向を見ながら、相乗効果が見られるような新たな魅力を作り上げていく。

*その他の質問

地元業者の育成と

雇用の確保について

コミュニティやデマンドバスの運行はいつ

市長 21年4月実証に向け準備



桐生清太郎 議員

質問 高齢者の通院や買い物、高校生の通学などに欠

かす事の出来ない交通の確保にコミュニティバスやデマンドバスの運行に向けての取り組みの進展状況は。

市長 新たな事業で、地域公共交通協議会を立ち上げ、市内全域のニーズに合った交通システムの実現を目指し、21年4月の実証運行に向け準備を進めている。

品目横断的経営 安定対策の一部 見直しで市の 対応は

質問 品目横断的経営安定対策は国の農業政策のせい弱さをさらけ出し、要件の緩和等や一部見直しが行なわれた現在、市として今後の対応は。

市長 基本的な方針は変えないで、個別認定農業者の面積要件4分の緩和や、中山間地の集落営農20分の面積緩和などを行い、関係団体と連携し、必要に応じて集落説明会などで周知して行く。

農地・水・環境 保全向上対策の 今年度、新規 採択は

市長 この事業は農村環境の整備・維持に大きな効果の期待できる事業であるが、昨年時では、地域の農家に十分な認識、合意に至らず申請にこぎつかなかつた地域が、その後の認識も深まり、国・県の対応に大きな期待を抱いている。胎内市としての20年度の対応を伺う。

市長 この事業は将来にわたり農業・農村の基盤を支え、環境保全の向上に寄与する重要な事業と認識している。今後引き続き国・県と歩調を合わせ、要望する地区が、新規に事業採択を受けることが出来るよう、また既に事業に取り組んでいる地区には、19年度以上の事業費が配分されるよう要望して行く。



常任委員会 審査内容

総務文教 常任委員会

行政組織条例の一部を改正

管理係」は黒川支所に、お客様サービス係」はロイヤルホテルに置く。

質問 職員的人数的な配置については、どのような割り振りをするのか。

市長 課内で補い合いながら対応していく。企画営業に関しては外部への委託も検討している。

個人情報保護条例の一部を改正

「統計法が改正されたことから同法の引用条項を整理する」

新潟・イリノイ友好会館条例の一部を改正

「宿泊部門を廃止し、宿泊室として利用していた部屋を昼間に利用可能な和室として用途変更を行う」

質問 和室に変えることに伴い、修繕費は必要なのか。

市長 そのまま使えるので、大きな経費は必要ない。

質問 宿泊室がなくなるのか。

とに伴い、職員の異動はあるのか。

市長 現在、臨時職員2人いるが、今後は学校法人太平洋に管理を委託する。今年度から職員は置かない。

手数料条例の一部を改正

「住民基本台帳カードの普及を図るため、同カードの手数料を3年間無料とする。4月より、火薬類の取締事務及び猟銃等の規制事務の権限が移譲されることから、手数料について規定し、戸籍謄本等の手数料の規定における引用条項を整理する」

質問 近隣市町村と比較し、本市の住民基本台帳カードの普及状況は。

市長 現在191件。近隣市町村と比べて特に多いとは言えない。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

「保健推進員の活動を見直し、健診希望調査・乳児健康相談の通知書の配布依頼をやめるため、その報酬額を年額1万円から5、

「観光企画係」「施設

観光課は、支所で今後も対応するのか、それとも本庁がホテルに移動するのか。

「観光企画係」「施設

「観光企画係」「施設

900円とする」

【質問】保健推進員の業務内容については。

【答弁】各地区へ出向いての健康相談、健康教室の開催時のサポートや高齢者や子どもに関する情報提供等である。

【質問】特別職の職員で非常勤のものの報酬で減額されるのはこれだけか。

【答弁】今のところ、この件だけである。

ふるさとづくり基金条例を廃止

「近年、その運用益は少なく、基金活用の事例がない状態であり、合併振興基金の創設により、地域活性化を趣旨とする事業に対する支援ができていないことから廃止する」

【質問】残金の預け入れ先は、どここの科目か。

【答弁】一般会計に繰り入れる。

奨学生選考委員会条例の一部を改正

「中条工業高等学校が閉校となることから、選考委員である同校の校長に代わ

り、市内の中学校長を委員の構成員に加える」

【質問】学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

「学校教育法が改正されたことから、市立学校設置条例及び市立学校施設利用条例における同法の引用条項を整理する」

なかよしクラブ条例の一部を改正

「中条なかよしクラブの開設場所を新潟・イリノイ友好会館から、勤労青少年ホームに変更する」

【質問】勤労青少年ホームを利用しての者と問題は生じないのか。

【答弁】午後7時までの開設なので問題は生じないと考えている。

【質問】中条小学校での設置の検討はなかったのか。

【答弁】現在、空き教室がない状態である。

山村広場条例の一部を改正

「胎内球場については、従来、体育団体等が利用す

る場合は全額減免していたが、他の体育施設で適用している減免率と同様とし、応分の負担を願う」

企業設置促進条例の一部を改正

「企業誘致の促進を図るために講じている優遇措置において、その対象産業を特定するために、平成14年に総務省が告示した日本標準産業分類を引用していたがこの告示が廃され4月から新たに産業に関する分類を定める総務省告示が施行されることから改正する」

以上、原案のとおり可決すべきと決定した。



胎内球場

産業建設 常任委員会

平成19年度観光事業特別会計補正予算

「スキー場関連施設・パークホテル等施設の事業収益の落込み分を一般会計から繰り入れ、1億5,513万8千円の補正を行う」

平成19年度地域産業振興事業特別会計補正予算

「ビール園等施設の事業収益の落込み分を一般会計から繰り入れ、5,550万円を補正する」

【質問】この見込額の時期は。

【答弁】11月末見込みである。

【質問】その後の変動予測は。

【答弁】ミネラルの販売増が見込まれるが、その他は降雪によって大きく左右されない。

木材加工施設条例を廃止

「雑木及び間伐材の有効活用を目的に昭和62年設立したが、老朽化と時代の変化に対応出来ず、平成15年以来休業しており廃止する」

クワハウスたいない条例の一部を改正

「トレーニングルーム利用料金を改定する」

【質問】現在の会員数は。

【答弁】個人会員648名、法人11社。

【質問】収入増見込みは。

【答弁】120万円見込んでる。

市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正

「北東牧団地4棟の完成に伴う改正」

【質問】入居者から風雪の苦情があるが。

【答弁】1号、4号西風まともなので防雪ネット等考える。

【質問】20年度3棟の予定、計11棟で終了するのか。

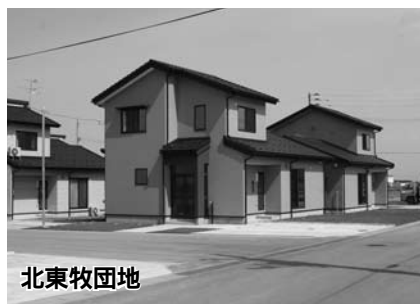
【答弁】今後は財政状況とニーズを考慮し判断する。

市道路線の認定

「新栄町水沢町線、追分1号線、追分2号線、十二天3号線、平木田駅前10号線、はまなすの丘線及び小長谷欽江線を認定する」



はまなすの丘線 (桃崎浜地内)



北東牧団地



クワハウス トレーニングセンター

厚生環境 常任委員会

平成19年度国民健康保険
事業特別会計補正予算

「高齢者医療制度改革に
おける激変緩和措置等に
対応するシステム改修費
169万4千円を追加補正
する」

平成19年度老人保健事業
特別会計補正予算

「医療費が増加していること
から療養給付費負担金を
6,401万7千円追加補
正する」

平成19年度介護保険事業
特別会計補正予算

「介護給付費に対する国等
の年度負担額決定に伴い
5,242万3千円の減額
補正する」

平成19年度農業集落排水
事業特別会計補正予算

「乙地区・大長谷地区の建
築工事が終了したことで、
管路施設工事費や施設管理
委託料を7,510万円減
額補正する」

平成19年度簡易水道事業
特別会計補正予算

「入札請負により施設改造
工事費や管理委託料を1
661万円減額補正する」

平成19年度特定環境保全
公共下水道事業特別会計
補正予算

平成19年度公共下水道事
業会計補正予算

平成19年度水道事業会計
補正予算

「以上3件については、3
月末実施予定の高利から低
利への借り替えが公営企業
金融公庫の都合で本年9月
に変更となったため処置す
る」

以上、原案のとおり可決
すべきと決定した。



胎内市後期高齢者医療に
関する条例

「本年4月から開始される
ことから市が担つ事務や保
険料の納期等を規定する」

「75歳以上の該当者数
は。」

「4700人位と見
ている。」

「普通徴収と特別徴収
(年金天引)の割合は。」

「国保の被保険者で見
ると3186人中、2、
968人で、93%特別徴収
となる。」

「社会保険に扶養され
ている75歳以上の人の負担
はどうなるのか。保険料一
人当り35300円増と
なるのか。」

「半年は免除、10月、
3月まで一割負担、21年4
月より1/2負担となる。」

「広域連合で支払う葬
祭費の支給額は。」

「国保と同じ5万円
で。」

「75歳を超える健康診
断はどうなるのか。」

「特定健診は実施する
が義務化ではない。人間

ドックは予定してない。

「県内全ての自治体も
同じか。」

「ひな形にそつて運用
するので、大きくは変らな
い。」

「保険料の徴収猶予が
想定されるケースは。」

「災害や世帯主の事故
で生計維持困難になった場
合が予想される。」

「国保と同じ軽減措置
は。」

「国保同様7割、5割、
2割の軽減措置はある。」

「討論の後、起立採決の結
果、原案のとおり可決すべ
きと決定した。」

「子どもの医療費助成に関
する条例の一部を改正
ひとり親家庭等の医療費
助成に関する条例の一部
を改正
老人医療費助成に関する
条例の一部を改正
重度心身障害者医療費助
成に関する条例の一部を
改正

黒川診療所条例の一部を
改正

「印鑑条例の一部を改正
以上6件は、一部負担金
を金額で明確に表示する」

「国民健康保険条例の一部
を改正

「療養給付に係る自己負担
軽減の対象年齢を3歳未満
から義務教育就学前までに
拡大する。所得によつて70
歳以上の被保険負担割合を
2割とする。生活習慣病予
防に効果的健診、保健指導
の実施に繋げる」

「介護保険条例の一部を改
正

「介護している方への支援
及び介護予防事業を明確化

した。又、一部の改正では、
保険料の激変緩和措置を20
年度も行う」

「黒川・鼓岡・大長谷地区
の下水使用料に急激増加緩和
特別措置を設ける」

「新潟県後期高齢者医療広
域連合を組織する地方公
共団体の数の減少及び新
潟県後期高齢者医療広域
連合規約の変更

「岩船地域5市町村合併に
伴つ変更」

以上、原案のとおり可決
すべきと決定した。



自然が生きる、人が輝く、交流のまち 20年度予算審査行っ



リゾート活性化方策 少子化対策 不妊治療助成 黒川農業公社 など

20年度予算を審議するため予算審査特別委員会が3月12、13日の2日間にわたり開催され、各会計とも原案どおり可決された。

一般会計

リゾート活性化方策

質問 リゾート活性化調査検討業務委託の目的は。

答弁 財団法人日本交通公社に委託、どう節減するかでなく、どのようにして活性化するか、どう交流人口やお客を増やしていくか。

質問 一般財源からの繰出金は減ったか。

答弁 まだ明示できない。平成20年度よりできることから、改革、改善策をやっていく。

質問 活性化検討委員の一般公募について。

答弁 14名の応募あり、百字以内の作文提出願ひ、3名を選任した。

黒川庁舎の改修工事

質問 進捗状況は。

少子化対策

答弁 4年計画で行い、今年度で完了する。

質問 出産祝金平成19年度実績と新生児誕生数は。

答弁 今現在233人、第3子10万円は32人、第4子15万円は3人。

質問 柴橋、本条若宮の幼保統合保育園構想の進み具合は。

答弁 新市建設計画に載っているが、財源問題



本条幼稚園



現在使われていない柴橋保育園



若宮保育園

がある。幼稚園跡が統合小学校となりがいいのか、用地選定から検討していきたい。

質問 保育園の臨時、パートの保育士が増えているが。

答弁 入園児数は変わらないうが、3歳未満児が増えているため。

質問 臨時、パートの違いと保育士は何名分か。

答弁 臨時は8時間勤務、パートは6時間以下勤務、保育士47名・臨時・パート他は61名分を計上。

質問 責任ある専門職である

が、賃金待遇は。

答弁 他市町村より若干良い、臨時は年25円時間あたりアップ、パートは固定。

質問 保育士の採用は。

答弁 平成17年6名、平成18年2名。今後、退職等あった場合補充していく。

妊婦検診助成

質問 何回くらい行い、1回当りの自己負担の検診料は。

答弁 13、14回、6200円、市では5回分に助成。

質問 不妊治療助成の対象者と、その手続きは。

答弁 県の助成制度に該当しない方に助成する。10万円、5年間を限度。相談いただければ出向く。



生活保護

質問 生活保護扶助費が減っているが、対象者数は。

答弁 平成18年は95世帯114人、平成19年は85世帯106人。

フッ素洗口

質問 進級時に意思確認のアンケートは取られないのか。

答弁 フッ素洗口は効果がある。学校側と相談する。

黒川農業公社

質問 補助金の経緯、並びに積算根拠と設立年と代表者は。

答弁 農業公社の予算要求により補助、平成13年、布川陽一氏である。

質問 設立目的及び事業内容は。

答弁 担い手育成。研修支援事業で果樹栽培技術研修、作業受託事業で堆肥散布、大豆栽培作業、航空防除、山間地での作業を受託している。

質問 果樹栽培技術研修はいつまで、研修場所は。

答弁 フルーツパークで行っている。技術習得するまで、習得後は補助金を減額していきたい。



剪定作業



堆肥散布

下越中部広域農道整備事業

質問 進捗状況は。

答弁 21年度に完成予定。JASスタンド前、中条インター間の工事が完了すれば全線開通となる。未買収地は、20年度に買収予定。

胎内型ツーリズム推進事業

質問 受け入れ世帯数は。

答弁 100世帯、衛生講習会等行っている。今年度270名の受け入れは大丈夫である。

商工会の補助金

質問 中条町、黒川商工会に対する補助金の相違は。

答弁 中条町商工会は引き当て金として預金があるのので270万円減額、黒川商工会は民謡流しを主催しているの10万円増額。

質問 プレミアム補助金削減は。

答弁 300万円よりも少し大きな事業等の制度がないか検討している。

市営住宅

質問 鳥坂団地8号棟が20年・21年度に建設する総合計画であったが。

答弁 諸般の事情で22年・23年度に建設予定。

橋梁点検

質問 業務委託内容は。

答弁 市の15m以上の44橋を単独事業で点検、来年度以降計画的に国の補助を受け架け替及び補修していく。

防災行政無線

質問 設置時期とアフターサービス等は。

答弁 4月から順次中条地区から集落説明会を行い取り付けていく。消耗品以外は市で対応する。

質問 事業所、集合住宅にも設置するのか。

答弁 クラレ、水沢、日立ジャパンエナジーに半固定機を設置。集合住宅に受信機を設置する。

公共用地先行取得事業

質問 嘉平山の用地取得費の返済金か。

答弁 返済金である。



質問 今後の活用方法は。

答弁 償還が終わっていないので着工はできない。大きな案件であるので、十分相談しながら検討していく。

駅前駐車場

質問 月極め使用料の口座振替、またはコンビニエンスストアで収納できないか。

答弁 開発費用及び手数料がかかるので、当分の間できない。

手数料

質問 一般廃棄物処理手数料4600万円の内訳は。

答弁 コミ袋の売上代金。

税収の影響

質問 当市に所在していた会社が、移転並びに閉社したことに伴う影響は。

答弁 大手企業は連結決算なので影響は少ないが、全体的には落ちてきている。

付帯決議

自治法上における予算編成の基本理念から、素人でもわかるような一般会計予算であるよう努力すること。

特別企業

会計予算審査

国民健康 保険事業

質問 予算総額が昨年比9千万円増えた要因は。

回答 4月から新たに始まる後期高齢者医療制度の開始に伴う医療給付費・共同事業拠出金の拠出による。

後期高齢者 医療

質問 窓口業務はどこで、保険証の送付と人数は。

回答 市民生活課の「ほけん年金係」。発送は3月19日に予定。人数は4,700人ほどである。

介護保険 事業

質問 一般会計で、おむつ支給していたのが介護保険に変わるのなぜか。該当者数は。

回答 現在、支給対象者は要介護3以上で、介護保険事業対象者であるため。なお12月に支給した人は191人。

質問 介護施設入所待ちの人数は。

回答 80〜90人位で推移している。

質問 成年後見人制度の利用者数は。

回答 現在1名である。

質問 紙おむつは、市外の業者からになるのなぜか。

回答 この事業は社会福祉

観光事業

協議会に委託しており、協議会は見積もりで条件の良い業者と契約している。

質問 スキー場の雇用人数と賃金は。

回答 人数は60〜70人、時給は657円〜910円で、数段階である。

質問 スキーカーニバルの開催は、胎内川観光協会と市の協賛となっているが、市の予算は。

回答 予算は観光協会と市内・市外の事業者の協賛金で賄っている。

質問 このカーニバル実施の形は、今後見直す時期にきているのではないか。

回答 協賛金の兼ね合いもあるが、各種イベントも含

め旧態の形にとられず、新しい形で取り組みたい。

質問 リフトの安全点検、塗装などはどのように行っているのか。

回答 索道協会から専門的に指導を受け、毎年点検整備、塗装等を行っている。

質問 観光総務費3千万円減になっているが要因は。

回答 19年度までタバコ販売収益を上げていたものを、20年度はパークの運営費に予算処置している。

質問 新年度予算の支出2億1千万円、収入2億5千万円を得るための入り込み客数は。

回答 客数では8万から10万人を予定している。

質問 一般会計から6千万円を繰入れしているが、毎年一般会計から繰り出しを考えているのか。

回答 12月から1月18日までの空白期間があり、これが無ければ6千万円位はあったのかなと思っっている。基本的には繰り出しはしないで運営して行きたい。

質問 昨年のゴールデンウィークでのフィッシングパークは大混雑であり、優良運営されているが、入場料や貸し竿が安すぎるのではないか。

回答 この施設については、入場料、貸し竿、釣った魚の三本立てになっており、釣った分だけお金をもらう事になっている。

質問 そば処「みゆき庵」の年間の売上が減ったのか。また、味が変わったのか。また、味が変わったのはといわれているが、現状を維持するくらいの取り組みなのか。

回答 黒川地区にはここを含めて4軒あり、売上に影響が出ているのかと思うが、味では負けていない。



胎内フィッシングパーク

宅地造成事業

質問 住宅用地売り払い収入の買い戻し単価の根拠は。

答弁 北東牧団地の特定公共賃貸住宅、3区画建設の売り払い収入である。

地域産業 振興事業

質問 ワインの仕込み原材料は、新潟フルーツパーク以外からの購入はあるのか。

答弁 新潟フルーツパーク以外からもモルト買いでではなく、原材料買いで購入し、仕込みをしている。

質問 この度、新たに雇用した技術者は、柏崎ワイナリーに勤めていた人か。

答弁 柏崎ワイナリーに勤務し、加工用ブドウの栽培を担当していた人である。

質問 本事業の収入増を図るためには、観光事業と大きく連動させるべきでは。

答弁 観光と農水、地域産業の横断的連携を図り進め

る。

質問 米粉製造では当初実績の3倍増になっているのに米粉販売収入が減収している要因は。

答弁 売上は伸びている。この会計に入ってくるのは、経常的経費、償還金、元利、保険料等に見合うものだけが入ってきている。それ以外については、会社独自での機械・施設整備・剰余金となっており、この数字が会社全体の数字ではない。

質問 優良な経営をしているが胎内市に入る収入は年々減ることになるのか。

答弁 経常的経費の増減もあるが、償還金が減つてくれば当然減ってくる。

簡易水道事業

質問 この会計は全世帯加入で、基金1億2千万円もある。内容が良いと理解してよいのか。

答弁 この簡易水道事業は今の単価だと経理状況は極めて良い。

質問 内容の良い簡易水道は平均年齢29歳の職員3人、水道事業は平均年齢44歳で8人、内容の良い簡水には給料の低い職員、内容の悪い水道会計には給料の高い職員を配置と見えるが、職員の入替も必要では。

答弁 今は現状に即した配置をしている。旧黒川村で水道の業務に従事してきた若い職員があり、その職員が平均年齢を下げているのが現状。今後は職員のバランスも検討したい。

質問 消費税が新たに歳出項目に記載された理由は。

答弁 旧黒川村の簡易水道事業が廃止され、胎内市の簡易水道になり、新たに事業を開始したため、昨年度の実績に基づいて課税事業者になったため。



反対

丸山孝博議員

後期高齢者医療特別会計予算案及び高齢者医療に関する条例案について、一括反対討論をおこなう。

この制度は、75歳以上の高齢者だけを集めた新しい医療保険であり、国保や健保を無理やり脱会させられるものである。胎内市の場合、その対象者は約4,700人で、全人口の約14%である。保険料は年金からの天引きで、介護保険料に加え、大きな負担になる。

これまで、家族の扶養で保険料を払っていない人も新たに払うことになる。高齢者に大幅な負担をもたらす、年齢で医療を差別するところでもない制度に、お年寄りから「早く死ね」という怒りの声があがっている。国会では、野党4党が同制度の廃止法案を提出している。以上の立場で反対である。

後期高齢者 医療特別会計

賛成

薄田 智議員

急速な少子高齢化の進展の中で、国民医療費も年々増加しており、老人医療費の占める割合が高くなっている。老人保健法では被保険者の年齢や窓口負担等の引き上げを行うなど制度改訂を行ってきたが、なおも増え続ける高齢者医療費の財政負担に対応していくのは困難で崩壊寸前の状況にあります。

胎内市では、昨年8月1日号から市報「たいない」で、「後期高齢者医療制度」を8回にわたり詳しく説明を行ってきました。

新制度では、現在扶養家族で負担ゼロの方に保険料負担が発生することや特別徴収はかけがえの無い年金から天引きされるという問題もあることも事実ですが、現在の団塊の世代が60歳代に移行することにより、高齢者医療費を中心に医療費の大幅な増加が見込まれます。よって、私は、この後期高齢者医療制度は必要不可欠な制度であると考えます。

きのこ小・6年生が議会を傍聴

子どもたちの率直な感想をズバリ掲載



わたしは、議会を聞いて難しいことを言っているんだなあと思いました。わたしたちの胎内市をよくすればいいことなど言っていました。演壇は、自分の意見を言っている人たちにしつもんされてもちゃんと答えていてすごいなあと思いました。話は難しかったけど、議員の人たちは胎内市をよくしようとしていていいと思います。

実際にみた時、むずかしいお話しでよく分からなかったけど、胎内市をよくするためのことを言っていることが少しだけわかりました。みんなは、そうゆうことを私達のために考えてくれてるんだと思いました。とてもうれしかったです。議会のみなさんは、いろいろと大変なんだなーと思いました。

ぼくは、議会を見て、質問し、市長が答えてから、教育長などの人々がしゃべるのが、何回もあって、「すごいな」と思いました。そして、ぼくの知っている人が、3人ぐらいいました。議員は、観光事業にかんする『思い』などを入れていて、「とてもいいな」と自分でも、いいことだと思いました。議会を見学して、こういうことで、何回も、話し合いをするので、また、議会を見に行きたいです。

ぼくは、初めて議会をなまで見ました。議会を見て議

長が名前をいつてから質問などをしていることがわかりました。質問する順番があることもわかりました。1人の議員で何かしつもんしてくわしいことをはなして意見を出しあっていることもわかりました。

テレビのドラマで見るような本格的な議会でした。難しい言葉がたくさんできて、言っている内容はよく分からなかったけど、ちゃんと胎内市のことを考えてくれた、大切なことを言っているのがわかりました。まちづくりのことも述べてくれる人がいたので、ちゃんとこれからのことも考えてくれるんだなあと思いました。

議会を傍聴してみて、思っていたより、本格的です。1人1人の話や質問が長くて、順番が決まっているなんて、びっくりしました。学校のことや会社についてなど、さまざまなことを質問していて、1回でいろいろなことについて議会をしていて、大変だと思いました。

今日、傍聴して、議員の人は、きびしくしつもんしていて、こたえる人は、くわしくこたえていました。わたしは、ここで、市のいろいろなことがきまつたりするので、とても大事なことなんだという事に気づきました。よかったです。

私は、始め、議会はどんなことをしているのか、テレビで見ることがありませんでした。でも、今日は、いろいろなことについて、質問すると各担当の課長や市長が、ていねいに、答えていることがよくわかりました。質問やその答えの中には、私たちの知らない、言葉などがたくさんあってむずかかったです。でも、議員の人たちは、『胎内市の未来のため』などと、胎内市を良くするとりくみや活動のことをくわしく、話しをしていることがわかりました。

質問する内容がむずかしくて、言っている事がよくわからなかったけれど、質問されてこたえる人は、相手の分りやすいように答えていた。あと、議員の人は、私が想像しているより多く、みんな男の人だと思っていたけれど、女の人も何人かいて、おどろいた。1人、二つぐらいしつもんしていて、すごくいっぱい質問することがあるんだと思った。

意見がある人は、手を挙げるなどのことをみんなもっていたし、中には、真ん中の席に移動してから意見や質問を言っている人もいたので、それはどうしてなのかな？と思いました。あと、1人の質問に答える時間が長かったのが、びっくりしました。

ぼくは、市議会に行つて、議会のようすを見ました。議会は、だいたい30名くらいでやるのがわかりました。質問したら、市長や教育長が答えることだということとがわかりました。ぼくは、市議会の人たちのお話を聞いて、ぼくたちの困っていることを相談していることがわかりました。

私は会議を、きいて、すこく、むずかしい、話だなあーと、思いました。

10年後の胎内市など、のことを、お話しをしていた。胎内リゾートのことなどのこと、お話ししていた。いい、胎内市に、なるといいなと、思いました。

ぼくは、議会を傍聴して、あんまり質問があんまりとぎれずに質問をしていて、とてもすごいと思いました。4回目くらいから、言いあらそいになっていたので、何で初めから、あらそっていないのかと思いました。

初めて、議会見学に行きました。どんな所なのかと思いました。私は、少し不思議だったことがありました。それは、女性の方がとても少なかったからです。あと、賛成、反対にわかれていたような気がしました。議会を見れて、とても良かったです。

私は、議会で1人の質問にかなりの時間が必要なんだということを知りました。あと、議会での質問は、小学生(子供)には、あまり理解できない内容だと言ったこともわかりました。そして、議員の人は、市民のために、いろいろな事を考えてくれているんだなと思いました。なかなか体験できない事なので、とても勉強になりました。

議会は定員に達していないとできないということがわかりました。そして1人ですごく長くしゃべっているのですぐいと思いました。あと討論がすごく続いているので言うことがなくなるとかと思いました。あとしゃべっていない人はどうするのかと思いました。今日の議会を見て議員の人などは胎内市のことを一生懸命に考えてくれていることがわかりました。

初めて議会を見て難しい言葉がいっぱい出てきたけど内容はちょっとわかりました。分かった事は、質問をするときは一般質問席で話しをしたりするのがわかりまし

た。あと、質問の答弁する人は市長がほとんど答えてた。あと、教育長が答えると言った事がわかりました。

私は、胎内市議会を傍聴して、議員さんたちが質問をたくさんしているのを見て、議長さんにかげられたらすぐに自分の意見を発言していいこんなにすぐ、パツと言っていてすごくびっくりしました。私も、質問されたらすぐに自分の意見を発言できるようにしたいです。

私は最初、『政治とか議会って難しそう』と分かってたけれど、実際に議会の様子を見て、少し議会のことがわかりました。質問の分野には、たくさん種類に分けられていたりしたので、びっくりでした。議会を見学して、住みよい胎内市になっていくのは、ここで議会をしているからだなあ、と改めて思いました。

私は、初めて議会を生で見ました。どんなことを言っているかあまり分かりませんでした。テレビを見てるようでした。市長さんが沢山の質問に答えていたので、大変ではないのかと思いました。議員さんたちは、1人3つぐらいの意見を発表していました。とても、すごいと思いました。

貴重な体験だったと思います。

ぼくは議会を傍聴して質問されたときくわしく話していたし、まちがえたら「失礼」とおちついていたのですごいと思いました。話の内容はよくわからなかったけど真ん中にやっていることはわかりました。胎内市をよくするためにがんばっているんだなと思いました。

胎内市のいろいろなことを話していることがわかりました。しつもんやいけんをいっぱい言っていたので、すごい

と思いました。胎内市のことをいろいろかんがえてくれてありがとうございます。

私は、議会を見に行つて、一つの質問をするのに何十分も時間がかかって、ずっと、質問がとぎれずに、長く言っていたので、すごいと思いました。

質問する方と、答える方にわかれていて、意見や質問を言いあつてすごいと思いました。

ぼくは議会を傍聴して、気付いたことは、みんなききながらメモをとっていることです。みんなしつかにメモをとっていたのです。すごいなあと思いました。あと、しりょうみたいなのがいっぱいあったのです。すごいと思いました。ぼくもみないたいです。

・ けつこう難しかったです。話の内容がよく分かりませんでした。
・ 胎内市をよくしようとしているということがわかりました。

・ 質問や話しの進め方がすごかったです。
・ 話しをしている人たちは、話をときれさせないようにしていたのでよかったです。

議員の人は、胎内市のことについて話し合っていることがわかりました。質問したことについて、くわしく話し合っていたのですごいと思いました。

わたしは、いちばんさいしょ、市役所に、こんな所あったのか、とおどろきました。あと、ぎいんさんは、多かったのびびっくりしました。市のいろいろなことを決めるところなので、大切なんだなあと思いました。

東マレーシア、サバ州 コタキナバル市訪問記

胎内市議会議長 松井恒雄

日程

1月31日～2月4日

経過

昨年5月に本市在住で現地に法人を持つ株(合同青果)の小野久衛社長(並槻出身)の仲立ちで、サバ州の前主席大臣ハリス氏とマレーシア・ブルネイの民間訪問団が吉田市長を表敬訪問した。今回はその返礼と正式にコタキナバル市長から、訪問の招請があり表敬した。

目的

コタキナバル市は、胎内市との友好関係構築を望んでいる。市としては、この友好関係が農業者交流の進展及び将来的に相互支援への可能性を始め、市政の発展に寄与するものであるかどうかを検討する。

サバ州の紹介

人口約270万 主要産

業は、パーム椰子やココア、コーヒ、ドラゴンフルーツ等の栽培及び加工。青い海と緑豊かな大自然を活かした観光産業、移住者用リゾート開発を進めている。

感想

お互いリゾート施設は整っているので観光交流はどうか。外国都市との友好関係樹立は、国際交流都市宣言をしている本市の施策とも合致している。

今回の相互訪問により、両市の友好関係の礎を築くことができたものと思います。



杉苗の植樹 (松井議長)



コタキナバル市長 吉田市長 小野社長 松井議長

議会の動き

- H20年
- 2月 14日 全員協議会
 - 総務文教協議会
 - 19日 議会運営委員会
 - 27日 第1回定例会(初日)
 - 28日 総務文教常任委員会
 - 29日 議会運営委員会
 - 3月 3日 厚生環境常任委員会
 - 4日 産業建設常任委員会
 - 10日 第1回定例会(2日目)
 - 11日 第1回定例会(3日目)
 - 12日 予算審査特別委員会
 - 13日 予算審査特別委員会
 - 議会報編集特別委員会
 - 17日 会派代表者会議
 - 19日 議会運営委員会
 - 第1回定例会(最終日)
 - 全員協議会

6月定例議会日程(予定)

- 10日(火) 本会議(初日)
- 13日(金) 総務文教常任委員会
- 16日(月) 厚生環境常任委員会
- 17日(火) 産業建設常任委員会
- 19日(木) 本会議(一般質問)
- 20日(金) 本会議(一般質問)
- 24日(火) 本会議(最終日)

編集後記

今議会は、真冬を思わせる前半から、4月を思わせる陽気の後半までの長丁場、春に向けていっしょに駆け抜けた22日間でした。胎内市の財政健全化計画も早期実現に向け進めているさなか。

今議会前には財団法人日本交通公社の調査検討業務「19年度報告書」が示され、20年度には報告書を基に詳細な計画を立て、具体的な実行プランを策定し、実質的な行動に移行して、観光と農商工業が一体

(桐生)

